



Cisco TelePresence System の CLI コマンド

この章では、Cisco TelePresence System (CTS) のコマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを使用する方法について説明します。この章には、次の情報が記載されています。

- 「CLI セッションの開始」(P.1-1)
- 「CLI に関する基本事項」(P.1-2)

CLI セッションの開始

CTS の CLI は、リモートからのみアクセスできます。パーソナル コンピュータまたはワークステーションから安全に CTS に接続するにはセキュア シェル (SSH) を使用します。

はじめに

はじめに、次の情報を準備してください。

- CTS の IP アドレス
- 管理者 ID とパスワード

CTS にログインするには、これらの情報が必要です。



(注)

CTS デバイス ページの管理者 ID とパスワードは、Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified CM) のデフォルトから変更できます。

CLI セッションを開始するには、次の手順に従います。

ステップ 1 リモートシステムから、SSH を使用して CTS に安全に接続します。SSH クライアントで、次の情報を入力します。

```
ssh adminname@hostname
```

adminname は管理者 ID、*hostname* はインストール中に定義したホスト名を意味します。たとえば、`ssh admin@ipt-1` のようになります。

ステップ 2 管理者 ID を入力します。パスワードの入力が求められます。

ステップ 3 パスワードを入力します。CLI プロンプトが表示されます。プロンプトには管理者 ID が使われます。例：

```
admin:
```

ステップ 4 CLI コマンドを入力して次に進みます。

CLI に関する基本事項

次のセクションでは、コマンドライン インターフェイスの使用に関する基本的なヒントを紹介します。

- 「コマンドの補完入力」(P.1-2)
- 「コマンドのヘルプの利用方法」(P.1-2)
- 「CLI セッションの終了」(P.1-3)

コマンドの補完入力

CLI コマンドを補完入力するには **Tab** キーを押します。次のガイドラインに従ってください。

- コマンドの始めの部分を入力し、**Tab** キーを押すとコマンドの残りの部分が補完されます。たとえば、**se** と入力して **Tab** キーを押すと、**set** コマンドの残りの部分が補完されます。
- 完全なコマンド名を入力して **Tab** キーを押すと、利用できるすべてのコマンドまたはサブコマンドが表示されます。たとえば、**set** と入力して **Tab** キーを押すと、**set** のサブコマンドがすべて表示されます。* は、コマンドにサブコマンドがあることを示しています。
- **Tab** キーを使ってコマンドを完全に展開しているときにもう一度 **Tab** キーを押すと、現在のコマンドラインが繰り返されます。これは、それ以上展開できないことを示しています。

コマンドのヘルプの利用方法

いずれのコマンドでも、次の 2 種類のヘルプを利用できます。

- コマンドの定義と利用方法の例を示す詳細なヘルプ
- コマンド構文だけを示す簡単な照会用のヘルプ

手順

ステップ 1 詳細なヘルプを利用するには、CLI プロンプトで次のように入力します。

```
help command
```

ここで、*command* はコマンド名またはコマンドとパラメータを意味しています。例 1-1 を参照してください。



(注)

help コマンドを入力して特定のコマンドの名前をオプションのパラメータとして指定しなければ、CLI システムに関する情報が表示されます。

ステップ 2 コマンド構文を照会するには、CLI プロンプトで次のように入力します。

`command?`

ここで、*command* はコマンド名またはコマンドとパラメータを意味しています。例 1-2 を参照してください。



(注) ? を **set** などのメニュー コマンドの後に入力すると、**Tab** キーと同じ機能を果たし、利用できるコマンドが表示されます。

例 1-1 詳細なヘルプの例：

```
admin:help file list activelog

activelog help:
This will list active logging files

options are:
page      - pause output
detail    - show detailed listing
reverse   - reverse sort order
date      - sort by date
size      - sort by size

file-spec can contain '*' as wildcards

Example:
admin:file list activelog platform detail
02 Dec,2004 12:00:59 <dir>   drf
02 Dec,2004 12:00:59 <dir>   log
16 Nov,2004 21:45:43      8,557 enGui.log
27 Oct,2004 11:54:33     47,916 startup.log
dir count = 2, file count = 2
```

例 1-2 照会の例：

```
admin:file list activelog?
Syntax:
file list activelog file-spec [options]
file-spec  mandatory  file to view
options    optional    page|detail|reverse|[date|size]
```

CLI セッションの終了

CLI プロンプトで、**quit** と入力します。ログオフ処理が実行されて **ssh** セッションが終了します。

